

シラバス

2019 年度

ビジュアルデザイン科グラフィックデザイン専攻3年

本物にふれる 本当の力をつける



履修ガイド

1 . カリキュラム

- (1) 授業について単位を修得するためには2/3以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。
- (2) 原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、欠席扱いとなる場合がある。
- (3) 交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を提出すること。
- (4) 各授業のシラバスには授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法及び教員・講師の出校日も記載。授業の1週間前にはアトリエにシラバスを掲示。また学校ホームページでも確認することができる。
- (5) 指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の日も各自で制作を進めること。授業期間で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、作品提出日をしっかり守ること。
- (6) 気象庁より23区に災害警報（暴風警報・大雪警報等）が発令された場合は原則休校となる。その場合は、学校から休校のメール連絡を行う。
- (7) 日曜、祝日において基本的に学校は休日（付帯教育は除く）となるが、場合により日曜、祝日を授業日とすることがある。新年度ガイダンス時配布のスケジュールに記載されるのでよく確認をすること。
- (8) 日曜において授業日以外の目的でアトリエを学生に開放して制作を行うことができる場合がある。ただしこの場合、使用できるアトリエは学校の指定する教室のみとなる。開放日においては新年度ガイダンス時配布のスケジュールに記載されるのでよく確認をすること。

2 . 単位の認定

- (1) 実技=課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
学科=試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
- (2) 単位計算の基準=各授業科目（実技、学科共）に対する単位は週90分半期17週相当（25.5時間）の授業をもって1単位とする。

3 . 進級の要件

本校の学生が進級するには、1年間の修得単位が31～33単位以上なければならない。

4 . 卒業の要件

本校の学生が卒業するには3年以上在学し、かつ所定の96単位以上修得しなければならない。

5 . 履修に関する注意

- (1) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (2) 授業途中からの受講は原則として認めない。
- (3) 受講した科目は、原則として変更することはできない。
- (4) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

6 . 採点について

- (1) 科目の採点は、授業終了時に行なわれる。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行なうことがある。
- (3) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出による採点とする。
- (4) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出して採点を受けなければならない。
- (5) 受講した科目の出席日数が、3分の2以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。
- (6) 授業料等未納者は原則として科目を受講する資格がない。

7 . 追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

8 . 採点基準

- (1) 課題(レポート含む)の採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	
94～80	A	
79～70	B	合格
69～60	C	
59～ 0	D	不可
保留	-	仮処置

(3) 採点保留(仮処置)による扱い

※学科において課題(レポート含む)採点の結果、点数が59点以下の場合、不可となり原則として次年度以降において再履修となる。

※授業を担当する講師による採点が保留となった場合、追課題(レポート含む)は成績会議により専任の判断に委ねられる。

※修得単位数が1年次、2年次それぞれで15単位以下、または1・2年次を通じて合計32単位以下は留年となる。

9 . 学科再履修

採点の結果、不可となった者は次年度以降において原則としてその学科目を再履修しなければならない。ただし、在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決定は学校の指示に従うこととする。

10 . 仮進級及び卒業・修了資格判定及び卒業・修了判定

- (1) 前期授業と後期授業において学科・実技の履修状況の確認を学期末に学生・保護者に郵送する。未提出課題のある学生はすみやかに学校の指示に従い、課題(レポート含む)の提出を行わなければならない。
- (2) 卒業・修了年次においては11月に卒業資格判定を行い、判定結果の掲示を行う。その際に出席、学科、実技などを考慮した結果、卒業・修了資格なしと判定のあった者は卒業・修了制作を着手する事ができず、卒業および修了不可となる。判断保留の学生については、3月において卒業・修了判定を行い、単位の修得状況によっては卒業・修了制作の提出があっても卒業・修了不可となり、留年もしくは卒業・修了延期となる場合がある。
- (3) 学費において未納がある場合、卒業・修了判定において卒業・修了不可もしくは除籍となることがある。

11 . 授業単位サポート制度

「授業単位サポート制度」とは単位修得をサポートするための制度。いずれも専攻担当専任教員と面談を通じて認定される。

代替授業、学外活動を通じて認定

- (1) 所属専攻、該当学年の授業以外の授業を受講することによる単位修得(単位数:受講授業単元に準ずる)
※所属専攻の授業と重複した場合は受け入れ授業の担当教員の許諾により、途中からの受講、中抜けも認め、その場合のみ出席扱いとする。
例:「ポートフォリオ」など研究科授業を受講することにより単位取得。

- (2) インターンシップに参加、レポートを提出することによる単位修得（単位数：1 単位）
※2年次の「インターンシップ」の授業と同様のインターンシップを、授業以外の期日に行った場合に認める。
「インターンシップ」の授業同様に書類、レポート提出が必須。採点方法は受入会社の評価に従い採点。
- (3) ボランティア活動などによる単位修得（単位数：活動期間に準ずる）
※単位認定は原則、実質1日8時間のボランティア活動を5日行う事で1単位とする。事前に専攻担当専任教員による面談を行い、ボランティア活動を行った後に「ボランティア活動報告書」の提出をもって認定。採点評価。
例：認定されるボランティア活動「豊島区フラッグ」「アート公衆トイレ壁画」「池ポス展」etc
- (4) 学外コンペに出品することによる単位修得（単位数：1 単位）
※専攻担当専任教員にコンペの内容を事前に報告し、出品前に専攻担当専任教員の講評を受けて出品すること。
ただし授業の一環として行われた学外コンペの出品は認められない。採点は出品のみC。入選するとAorB。受賞するとAAと同等とみなし採点。
例：「JAGDA 学生グランプリ」「アワガミ国際ミニプリント展」「ICAF」「GU タペストリーコンペ」etc

特別支援授業を通じて認定

- (1) 特別支援授業を受講することによる単位修得（単位数：各1 単位）
※特別支援授業とは、単位取得を支援するために行われる授業。春季休暇、夏期休暇に実技授業・学科授業が開設。授業前に事務局窓口で受講することを告げ、受講料を支払うことにより受講が認められる。
受講料：1 講座 15,000 円 / 採点方法：提出作品、試験、レポート等によって採点。

12 . 参考作品について

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行なう。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物や広報（Web や SNS）および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

ビジュアルデザイン科グラフィックデザイン専攻

シラバス

前期学科授業名：「古美術研修」 担当講師：専任講師、北 進一

授業期間：2019/5/14(火)–2019/5/17(金)

学習目標：ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。(等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など)

授業内容：研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともありますが、現地で間近に見るのとは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。

※研修旅行前に5月10日月曜2限目に日本美術史(古美術研修)のセミナーを開講。

選択授業名：「特別講座」 担当講師：ゲスト講師

授業期間：2019/6/15(土)、9/10(火)、9/14(土)、11/9(土)、12/7(土)

授業時間：13：00–16：00

学習目標／授業内容：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。

就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。

前期実技授業名：「エディトリアルデザイン」 担当講師：奥定泰之

授業期間：2019/4/9(火)-2019/5/11(土)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：エディトリアルデザインをより深く考察し、単なるアプリケーション操作を超えたエディトリアルデザインを具体的に考え、制作する。

授業内容：タイポグラフィ、レイアウト、写真加工、色面構成、素材選択などの技術を総合させて、エディトリアル（編集）という意味を考えつつ、作品を制作する。

前期実技授業名：「メディアブランディング実習(先端メディア アート&デザイン)」 担当講師：伊波英里

授業期間：毎週 2019/4/12(金)-2019/7/12(金)

授業時間：13：00-16：00

学習目標：様々なタイプのコンペティションに応募することで、制作における包括的な実践力を身につけることを目指します。

授業内容：各コンペティションの特性に応じて、リサーチ、コンセプト立案、制作、プレゼンテーション、応募までを一貫して行い、実社会での仕事を想定した一連の流れを学習します。

前期実技授業名：「UIデザイン(先端メディアアート&デザイン)」

担当講師：谷内晴彦

授業期間：毎週 2019/4/17(水)-2019/7/20(土)

授業時間：13：00-16：00

学習目標：ひとつのテーマから情報を整理し、Adobe XD を使用してウェブデザインを設計するまでのプロセスを身につけることが目標です。また、難しく考えるのではなく、それが伝わるかどうか？便利かどうか？柔軟に客観視する力も学習していきます。

授業内容：Web デザインはどうやってつくられるのか？様々なプロセスを体験することで、実践に役立つ演習を試みます。ここではウェブサイトにおける情報の編集、ワイヤーフレームの設計など、導線や画面遷移といったウェブの仕組みを最低限理解し、UIデザインの基礎を習得します。

前期実技授業名：「パッケージデザイン」 担当講師：松本 泉

授業期間：2019/5/20(月)-2019/6/8(土)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：パッケージデザインは、買い手に様々な情報を伝達しながら購買に結びつけ、買われた後は人々の暮らしに寄り添って存在していくという、もはや生活文化そのものと言えるほど重要なものです。本授業ではパッケージデザインとは何か、どのような仕事なのかを講義と演習の両面で理解体験し、興味喚起させることを目標とします。

授業内容：パッケージデザインの本質を、実例をもとに紹介する講義を行ない、その後に学生一人一人にパッケージ制作の課題に取り組んでもらいます。コンセプトを考え、ロゴタイプを作り、グラフィックデザイン、イラストレーション等を駆使してデザインをまとめ上げ、最終的に提案用のカンパを仕上げ、プレゼンテーションしてもらいます。

前期実技授業名：「タイポグラフィ2」 担当講師：太田徹也

授業期間：2019/6/10(月)-2019/7/6(土)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：2年次のタイポグラフィ1で学んだことをベースにタイポグラフィの可能性を掘り下げます。

授業内容：いろはの本

いろはにほへと…ゑひもせすん。まで48文字を使った本のデザイン

- 仮名文字：いろは…ん。までのデザイン。
- 欧文：I. RO. HA…。までのデザイン。
- Visual としてイラスト・写真・デザインでまとめる。これら3つのテーマを各ページにまとめて一冊の本のカタチに仕上げる作業をデザインとして行います。いろはを覚えておくこと、Visual に「いろは…ん」のつく物を探しておくこと

前期実技授業名：「グラフィックデザイン応用」 担当講師：山本哲次

授業期間：2019/7/8(月)-2019/9/21(土)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：校外展出品を目的としたポスターを制作。卒業制作のシミュレーションとして取り組みます。2年次に立てた自らの目標の達成と、3年生前期までに学んだ成果を学外の人へ発表する作品を制作する授業です。プロに必要な応用力の修得を目標にします。

授業内容：デザイングッズブランドのイメージポスター（B0判）を制作します。ポスターは紙やプリントにもこだわり、受け手の心を揺さぶるような表現を目指します。

後期実技授業名：「卒業制作」 担当講師：山本哲次、岡山拓史、飯田 淳

授業期間：2019/9/1(水)-2020/1/30(木)

授業時間：9：00-16：00

学習目標：創形で学んだ3年間の集大成として、自身の表現の領域に於けるクオリティを追求しつつ、卒業制作としてふさわしい、社会性を意識した完成度の高い作品を制作します。そのうえで校内外の卒業制作展で発表することを目標とします。プロのクリエイターとして充分通用する表現を求めます。

授業内容：各専攻の専任教員の個別指導に従い、コミュニケーションを大切にしながらゼミ形式での授業を行います。

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp